



CLUB OFFICE
京都YMCA 三条本館
京都市中京区三条通柳馬場角
TEL 075-231-4388

THE Y'S MEN'S CLUB OF

Kyoto Prince

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MENS CLUBS
"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

2017

12

Bulletin

2017.12.1発行
第32巻第6号通巻384号

主
題

国際会長 ともに、光の中を歩もう "Let Us Walk in the Light - Together"
アジア会長 ワイズ運動を尊重しよう "Respect Y's Movement"
西日本区理事 2022年に向けて「心身の健康づくりから、クラブの健康づくりへ」
"Healthy mind & healthy body make healthy club"
京都部部长 All Hands on Deck!

聖
句

ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身ごもっていた、いいなずけのマリアと一緒に登録するためである。ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。
ルカによる福音書2章4節～7節



『上半期を振り返って』

第32代会長 宇高 史昭

会長の役割って何?とまだまだ戸惑いの多い私ですが、おかげを持ちまして、7月サバエキャンプ場の開設ワークから始まった今期、三役、事業委員長の皆様をはじめ、全メンバーの協力で、クラブの事業も予定どおり進み、あつと言う間に半期が過ぎました。この場を借りて御礼申し上げます。

さて、私は「"私たち"意識を大切に」を今期の会長主題に掲げました。YMCAのボランティアリーダー時代、キャンプや野外活動では、子ども達を8名程度の小グループに分け、一人のリーダーが子ども達と生活や活動を行って来ました。YMCAでは今でも変わらずこの方法は続けられています。これは、グループワーク手法と呼ばれ、小グループでの活動を通して、お互いに協力し、助け合う体験の機会を持つことで、友だちづくりの術や他者へ奉仕する態度を学び、そして他者から感謝や自分の存在感を認めてもらえる喜びを得る経験を積むことで自分自身による成長を助けることを目的としていると教えられて来ました。

初めは他人であったグループを構成している個々人が、活動を共にすることでいつの間にかお互いの距離が縮まり、仲良くなり、個人行動や言動がグループ行動・声かけに変わっていきます。「私・個人」を中心とする視点が「私たち」グループ意識へと変わります。そして、グループから少し離れている人のことをメンバー全員で気にかけるようになっていきます。

最近、世界中に個人主義的な発言や行動が目立っています。わがクラブは、これまで30年超、一貫して将来を担う青少年の育成を活動の柱に据えて活動を続けてきましたが、活動を通じて子ども達にも私たち意識を取り戻してほしいと願っています。隗より始めよと言います。"私たち"意識を大切に、より多くのメンバーが参加する例会や事業を後期も続けて行きたいと思えます。

12月にはフレッシュメンバーとして、古市千修さんを迎えました。1日も早くプリンスクラブに対して"私たち"意識を抱いてもらえるように、若手が楽しめる例会や事業・活動を創っていきましょう。そして、早くクラブを引っ張っていくリーダーとして活躍していただきたいと思えます。

To be aware "we-feeling" and no one will be left behind.

メンバー全員だれ一人取り残すことのないように、後期の活動を頑張っていきたいと思えますので皆様よろしくお願いたします。

会長主題

"私たち"意識を大切に

会長 宇高 史昭
副会長 飯尾 豊
田中 邦昭
書記 小野 敏明
会計 森 伸二郎
内外会長 宇高真知子

強調月間

Public Relations
Wellness

12月 例会案内

6日(水) 通常例会

古市千修君の入会式とメンバースピーチ。京都部EMC主査も来られます。

23日(土) Xmas例会

今年の子供主体で、絵本の読み聞かせを行います。もちろんサンタのプレゼントもあるよ。

例会出席

11月第一例会	12名
11月第二例会	14名
在籍者数	16名
メンバー	0名
出席率	93.8%

BFポイント

切手	pt
現金	0円
果計	0円

ファンド

じゃがいも	222,640円
-------	----------

果計	369,140円
----	----------

ニコニコ

11月第一例会	0円
11月第二例会	5,000円
果計	31,000円

11月第一例会

2017/11/1
飯尾 豊

宇高会長の点鐘で例会が始まりました。ワイズソング斉唱の後、本日のゲストスピーカーの森口先生、ゲストの石田様、新入会候補の古市様が紹介されました。古市様はオリエンテーションを受講され例会を2回出席されているので我がクラブの入会資格を取得されました。入会式が楽しみです。

続いて宇高会長から西中国部部会に出席され、会員数が少ない成りに各クラブがアクティブにボランティア活動をされている報告がありました。各委員会からの報告で斎藤Yサ委員長からオータムフェスタの協力と先日の台風21号でサバエキャンプ場が被害を受け23日に復旧ワーク参加のお願いがありました。

食前感謝は藤尾連絡主事が欠席の為、岡西ワイズのお祈りで楽しい食事の時間が始まり、本日の食事はお寿司です。お寿司は例会では初めてと言う声が聞こえました。食事も終わり榎木ワイズより本日のゲストスピーカーの京都市立病院、乳腺外科部長、森口喜生先生の紹介があり「今できること～乳がんから家族を守るために～」が始まりました。

乳がんは女性だけの病気と思っておりましたが全体の2%ほど男性もかかる病気と聞き驚いております。乳がんは女性のかかる「がん」のなかで最も多く、発生率は女性の生涯で11人に1人の割合で発症され70人に1人がこの病気です。早期発見には自身での異常発見、定期的に健診が重要、そして治療は手術、薬物療法、放射線治療が有り早期の場合、手術をせずに薬物療法、放射線治療で治る事も聞きました。もし乳がんになった時の手術と手術後の治療、そして経過観察と難しい言葉を森口先生は分かりやすくスライドを使いながら説明していただき、良く理解ができました。早速、我が家でも早期発見に努めたいと思います。

例会終了後、森口先生を囲み「がん」論議に夜も更けていきました。



オータムフェスタ報告

2017/11/19
飯尾 豊

第17回オータムフェスタが11月19日に京都YMCAリトリートセンターで行われました。プリンスクラブは恒例のぜんざいを出店いたしました。斎藤Yサ委員長は仕事と重なり欠席、毎回斎藤ワイズ、廣井ワイズの協力を得て作っていましたが今回は岡西ワイズが協力して頂き無事、美味しいぜんざいが出来上がりました。前日の雨も上がり現地に8時に到着、そこから2時間も掛かって作っていきます。丁度出来上がる頃に会場も設営されいよいよオータムフェスタの開会です。地元の「炭山自然と文化の会」の方々の和太鼓、篠笛、獅子舞等が演奏され会場は華やかなムードになりました。今年は天気も良かったお蔭で多くの方が参加されぜんざいの売れ行きは早く、100個用意した御餅が12時には完売、後は御餅無しで販売しました。晴れていた天気もお昼頃には一時時雨で来て寒くなり益々ぜんざいが売れ1時過ぎには完売しました。販売に協力して頂きました宇高ワイズ、田中ワイズ、西村ワイズ、家族で参加して頂いた今西ワイズに感謝いたします。

サンライズクラブたより

11月は山手センターをベースにしている三クラブ(親:東京山手、東京サンライズ、妹:東京たんぼぼ)の合同例会を行いました。サンライズの例会では出ないお弁当を頂き、本日の出し物は落語。入船亭扇蔵師の「転失気」と「親子酒」を楽しみました。例会出席者は50名。二次会には21名が参加した賑やかな例会になりました。12月は山中クリスマスとお散歩例会・忘年会。1月は在京ワイズ合同新年会とサンライズの新年会と楽しみが続きます。

11月第二例会

2017/11/15

榎木 徳子

11月第2例会は、ゲストスピーカー、児童養護施設つばさ園石塚かおる園長の講演でした。私が児童相談所に勤務している時、石塚園長と直接話をする機会はなかったのですが、石塚園長を昔から知っている職員は、口を揃えて「包容力のある人」と言っていました。また、児童養護施設に入所や委託一時保護をお願いする時、中学生以上は受入が難しい場合が多いのですが、つばさ園さんは無理を聞いていただいた印象が強かったです。

直接かかわった子どもさんではないのですが、「ずっと施設で生活していて、施設にいる時は施設のルールに従って生活していればよかったが、一人で暮らし始めると、ルールがわからない」と言っていました。家庭で生活していれば、個々の家庭の暗黙のルール(例えば朝食は何時でパンとコーヒーで、お風呂は何時でなど)があり、それをベースに一人の生活も考えていけるのですが、集団のルールしか知らない子どもたちはそこも自分で作らなければならないのです。また、良くも悪くも家庭で伝達される社会のルールや価値観も弱く、退所して一人になると不安でいっぱいの中、石塚園長は退所後の生活もフォローしている様子が新聞にも取り上げられていました。

児童養護施設は、元々孤児院が始まりだったので、貧困や親がいない等による入所のイメージが強いですが、今は7~8割が虐待によるものという冒頭のお話には、皆驚いていました。「子育てはたいへんなんです！まして仕事をしながらならなおのこと。」これは世の男性、特に安倍首相に聞かせたい。虐待をする人の気持ちが理解できない、これはある意味幸せなことです。子育てに奮闘する女性がいる、フォローする人や環境があって虐待までいかずにすむのですから。母親ががんばってもうまくいかず(原因は貧困だったり、ひとり親だったり、親の障害だったり、偏った育児観だったりいろいろですが)、母親をフォローする環境がなければ、そのうっぷんは子どもに向いてしまうのです。

そんな子どもを成人になっても、その子が子どもを生んでもフォローする石塚園長、虐待で傷つき、大人に対する不信感でいっぱいの子どもたちに、本当に心配してくれる大人がいることを知らしめてくれる存在です。園長のお話の中の、小さい子は怖い、こちらの言うことをそのまま受け取ってしまう、逆に中高生は、「そんなん無理」と反抗してくるからわかりやすいという言葉聞き、つばさ園さんが大きい子も受け入れてくれる意味がわかりました。同時に、反抗する子どもに対する私自身の偏見(?)を感じました。

ワイズメンとして、個人として、虐待を受けた子どもたち、施設に入所している子どもたち、退所した子どもたちに何ができるか、また虐待を予防するために、何ができるか、考える機会となった例会でした。

周年例会のアピールにお越しいただいた、グローバルの山岸様・櫻田様・赤松様、母子保健のひとつの場面として聞きに来ていただいた、京都市立病院の助産師としてご活躍の前田様、そして、本当にお忙しい中、ゲストスピーカーとしてお越しいただいた石塚かおる園長、本当にありがとうございました。



クラブファンドとは

ファンド委員長 三村 良行

今期ファンド委員長を拝命頂き、前半期が目前と迫ってきております。日頃はクラブファンドにご協力頂き感謝申し上げます。当クラブのファンド事業は期の前半に集中しており、メインのじゃがいもファンドまでは毎月何かしらの御協力を頂いております。

メンバーの皆様もご承知の通り、ファンドでの収益はクラブの事業会計で大切に管理されております。その用途は、YMCAサービス・ユース事業、地域奉仕・環境事業にのみ拠出が許されております。私はクラブ歴は27年と永くこのクラブに携わらせて頂いておりますが、ファンド委員長をさせて頂くのは初めてではないかと思ひます、委員会配属自体も1度だけであり経験がありません。逆にYサ・CS委員会は委員長を含め数多くさせて頂きました。入会4年目に初めてCS委員長をさせて頂いた時の思い出は事業会計はファンド事業で得た収益金である、その中にはメンバーの方のみならずワイズ(プリンスクラブ)の活動にご賛同頂いた一般の方々のお金で在り、1円たりとも無駄には使ってはいけないそしてメンバーの為(野外活動の弁当等)にも使ってはならないと教えられました。それゆえ、Yサ・CSの事業計画を提案するときは特に気を使った思い出が残っています。

現状のメンバー数ではファンド事業もなかなか難しいですが、クラブにとっては大切な事業ですので更なるご協力をお願いします。EMC活動(クラブ活動アピール)にも活用頂けますように！

1. 三条本館耐震補強・施設改修工事進捗状況

11月は地階から4階までの耐震補強鉄骨材を取り付ける準備工事が継続しておこなわれ、耐震壁増設の鉄筋コンクリート打設工事は2階を除き、11月末までに完了予定。また、5階プール天井貼り替え工事が完了し、プール利用は再開しています。

保育所設置工事は、来年1月から本格的な間仕切り工事に着手予定。12月は地階、1階、3階、4階の解体された天井、壁の復旧作業と内装仕上げ工事及び、設備工事になります。2階の保育所工事を除き、12月末までに作業完了予定。この期間は職人さんの出入りも多く、作業音が大きくなります。エレベーター工事は12月中旬より着手、1月下旬に完了予定。この期間昇降機は使用できませんので階段での通行となります。階段の通行について、詳細は館内掲示をいたしますのでご確認ください。

2. 市民クリスマス・キャロリング

毎年行われている皆様とともにキリストの誕生を祝い、平和を祈るプログラムです。今年は、ハンドベルコンサートを合わせて開催します。ぜひご参加ください。

日 時： 12月15日(日) 午後6時半～8時半
場 所： 三条本館及びその周辺
内 容： 午後6時半～7時 ハンドベルコンサート
演奏： 京都聖母学院中学・高等学校ハンドベル部
午後7時～7時半 市民クリスマス礼拝(キャンドルサービス)
メッセージ： 入 治彦 牧師(日本キリスト教団京都教会)

午後7時40分～8時半 クリスマスキャロリング(新京極・三条寺町界限)

お申込み・お問合せ： 京都YMCA本部仮事務所(京王京都三条ビル3階)

(TEL: 075-231-4388 / E-mail: kyoto@ymcajapan.org)

3. 第5回The Ycup京都ミニバスケットボール大会 協賛広告お申込み受付中

The Y cup京都ミニバスケットボール大会は皆様からの協賛広告料を基に運営され、得られた収益を経済的に困難な子ども達が京都YMCAのプログラムに参加するための支援金「子ども支援基金」に積み立てられます。バスケットボールに懸命に取り組む子ども達を応援することが、より多くの子ども達の豊かな成長を支えることに繋がる支援です。ご協力をお願いいたします。詳しくは、HP大会特設ページ(<http://kyotoymca.or.jp/?p=5916>)または「協賛広告のおねがい」をご覧ください。

お申込み・お問合せ： 京都YMCA本部仮事務所(京王京都三条ビル3階)

(TEL: 075-231-4388 / E-mail: kyoto@ymcajapan.org)

4. スキーキャンプ・ウインタープログラム お申込み受付中

お申込み・お問合せ
京都YMCAウエルネスセンター(TEL) 075-255-4709
e-YMCA (Web申込)

<https://e-ymca.appspot.com/kyoto>

東広島クラブだより

11月26日(日)東広島クラブは、公益財団法人日本自然保護協会自然観察指導員の谷口晶司先生と奥様の範子先生を講師にお迎えし、恒例の冬鳥観察会を開催しました。場所は、JR西条駅から車で5-6分の所にある鏡山公園です。主催者側の東広島クラブからは、財満、阿武、竹井ワイズが参加、一般市民は、13名が参加しました。

財満会長の開催挨拶とワイズメンズクラブに関する簡単な説明のあと観察会が始まりました。当日は、曇りでしたが、雨が降らなかったため観察日和となりました。公園内を一周して観察できた鳥は、1.マガモ2.ヨシガモ 3.ヒドリガモ4. オオヨシガモ5.ホシハジロ6.キンクロハジロ7.オオバン8.カイツブリ9.バン10.セグロセキレイ11.キセキレイ12.アトリ13.ジョウビタキ14.モズ15.ヒヨドリ16.ツグミ17.ハシボソガラス18.ハシブトガラスでした。

参加者の皆さんは、講師の先生方に持参していただいたフィールドスコープや各自持参した双眼鏡で様々な鳥達の様子を観察して楽しまれたようでした。

11月度 役員会報告

報告事項

- ジャガイモファンド益金 222,640円
- 年越しそばファンド実施します
- 例会費引落は、来年3月末にて終了。

承認された事項

- 古市千修君入会
- Xmas例会登録費 メン1,000円
- メネット・コメット大・ゲスト 5,000円
- コメット小 3,000円 幼児 無料

12月 スケジュール

- 6日(水) 第一例会
19:00 グランドプリンスホテル
- 15日(金) 市民キャロリング
17:00 京都YMCA
- 16日(土) 半期事業報告提出期限
小野書記まで
- 23日(日) クリスマス例会
17:00 グランドプリンスホテル
- 27日(水) 役員会
19:30 廣井ワイズ事務所

12月 Happy Birthday

15日 斎藤 謙治

編集後記

今年も残り少なくなりました。本当にいろんな出来事に振り回された2017年、来る2018年こそ真実が見える時代になりますように。

ブリテン記事があふれて困っている初夢でも見ようと思っています。来年もよろしく!!!